

## 研究発表 I

講演者：神奈川県立厚木清南高等学校 P T A

学校名：神奈川県立厚木清南高等学校

「コロナを経験して今私たちができること ～時代に合う P T A の在り方とは～」

### 1 学校紹介

《厚木清南高等学校》

旧厚木南高等学校の校舎を改修し、県内 2 校目となる単位制普通科フレキシブルスクールとして平成 17 年に開校しました。全日制・定時制・通信制の三課程を併設している学校としては全国初のフレキシブルスクールとなります。本校の特徴でもあるフレキシブルスクールとは、神奈川県立高校教育改革の一環として誕生した、昼夜間の幅広い授業時間帯を設定し、生徒の生活スタイルや学習のニーズ、また個々のペースに合わせて柔軟に学びのスタイルを選択できる単位制普通科高校のことです。一人ひとりが自分の興味・関心に応じた学習計画を立て、幅広い学習時間帯と豊富なカリキュラムの中から自分だけの時間割を作成することができます。この特徴を活かしながら、自己を見つめ自分の将来を切り拓く力、自ら課題を発見しその課題に向けて思考・判断し行動する力、コミュニケーションを図り他者を尊重して協働する力、そして社会的自立を目指し努力する力を育む教育に取り組んでおり教育方針としています。

《校名》

清流「相模川」の西部に位置する新校のすがすがしさ・清らかさから「清」を、丹沢の峰を間近に望む厚木市の南に位置することから「南」が付けられました。

《校章・校歌》

校章は県民の方々に公募し、グラフィックデザイナーの奥野和夫氏の作品が選ばれました。

青空の下、清流「相模川」の流れをモチーフとして、無限に発展していくダイナミズムを表しており、空の色は伸びゆく様子、水の色はたゆみない努力を続ける様子象徴して



います。また校歌は、スタジオ・ジブリ作品や映画音楽、テレビ等の音楽を数多く手掛け活躍されている、久石譲先生の作曲によるものです。

### 2 P T A 活動紹介

厚木清南高等学校 P T A は、本部・年次委員会・環境整備委員会・広報委員会・成人委員会・ふれあい委員会で構成され、生徒がよりよい学校生活を送れるよう、学校と協力しながら活動しています。今年の 5 月からコロナの位置付けが「5 類感染症」に変更され、学校行事はもちろん P T A の活動も制約することなく行えるようになりました。

- ・本部…学校との連絡・調整役、月 1 回の役員会・運営委員会の開催、クリーンウォークでの生徒へのお茶出し、文化祭への参加などを行っています。
- ・年次委員会…教員と保護者の情報交換の場として、懇話会・交流会の企画・開催を行っています。また文化祭への参加、卒業式での花束贈呈を行っています。
- ・環境整備委員会…校内整備の一環として、年に 4 回花植え・除草作業を行っています。また卒業式で飾る花の準備・飾り付けもを行っています。
- ・広報委員会…広報紙「SEINAN」の発行に向け、スポーツ大会や文化祭などの学校行事の撮影や取材、編集作業を行っています。文化祭では学校生活に関することなどに

ついでにアンケートを取り、紙面作りに活かしてきました。

- ・成人委員会…講習会や研修旅行の企画・開催を行っています。
- ・ふれあい委員会…スポーツ大会での生徒へのお茶出し、文化祭への参加を行っています。  
3月のクリーンウォークでは豚汁を作り生徒たちに提供してきました。

### 3 コロナを経験して考えること

コロナの影響で、学校行事も規模の縮小や簡素化、感染状況次第では中止という判断をせざるを得ない状況の中、PTAとしての活動も思うようにできない状況が続きました。そうした状況の中、PTAという存在がなくても学校生活は送れるのでは？と感じることも少なくありませんでした。ただ人との繋がりや関わりの大切さを改めて感じさせられることも多かったように思います。高校生にもなると学校生活のほとんどは、先生方の支援もあり、自分たちで考え行動するようになり、私たち保護者の手を借りるようなことはあまりありませんが、目を掛け見守ることは必要なことだと感じています。

時代の移り変わりや社会の変化の中で、私たちの生活スタイルは大きく変わってきています。そうした変化の中で、PTAの在り方や存在意義が問われる機会も増えてきています。PTAの活動目的は「生徒たちのために」ということです。「やる意味がない」「出来なかった＝やらなくていい」ではなく、学校や生徒にとって「何が必要なのか」をよく考え、その上で社会の変化に柔軟に対応し、活動の見直しや削減を行っていければと考えています。



～清南 花子ちゃん～